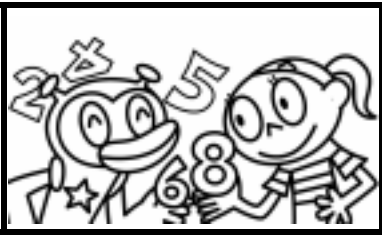


算数 学習相談		学研教育情報資料センター  小 / 算数 / 5年 / 数と計算 / 倍数・約数 / 理解シート
------------	---	---

さいしゅうこうばいすう    こうばいすう

## 2と3と5のような数の最小公倍数と公倍数の求め方を教えて

(2, 3, 5)(4, 6, 9)



いちばん大きな数(5)の倍数のうちで、2でも3でもわり切れて、商が整数になる数が、2と3と5の公倍数なんだよ。



(2, 3, 5), (4, 6, 9)の最小公倍数と公倍数を、小さい方から順に3つ求めてみましょう。

① (2, 3, 5)

(○→わり切れて商が整数。×→わり切れない)

5の倍数→	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	75	80	85	90
2でわる→	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○
3でわる→	×	×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	○

※5の倍数のうちで、2でも3でもわり切れて商が整数になる数は、

30, 60, 90です。最小公倍数は30, 公倍数は、30を1倍, 2倍, 3倍すれば求められます。

最小公倍数→30    公倍数→  $\begin{matrix} (30 \times 1) & (30 \times 2) & (30 \times 3) \\ \underline{30} & \underline{60} & \underline{90} \end{matrix}$

② (4, 6, 9)

9の倍数→	9	18	27	36	45	54	63	72	81	90	99	108
6でわる→	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○
4でわる→		×		○		×		○		×		○

※9の倍数のうちで、まず6の倍数を見つけて(6でわる), 次に6の倍数のうちで4の倍数を見つけた(4でわった)数が4, 6, 9の公倍数になります。(わり算の回数が少なくなる。)

最小公倍数→36  
 公倍数→  $\begin{matrix} (36 \times 1) & (36 \times 2) & (36 \times 3) \\ \underline{36} & \underline{72} & \underline{108} \end{matrix}$  (最小公倍数を1, 2, 3倍する。)